

# 世界を巡る新コンセプトの地球儀・ステーションナリー

## (株式会社 マルモ印刷)

### 会社概要(平成24年3月現在)

- 所在地:香川県三豊市豊中町笠田笠岡  
3915-5(陣山工業団地)
- 代表者:奥田 章雄
- 資本金:1,000万円
- 売上高:8億3,000万円(平成24年4月実績)
- 従業員数:42名
- URL:<http://www.marumo-print.co.jp/>

### ①事業概要

#### <紙加工製品の製造・販売>

香川県西部の三豊市を本拠とするマルモ印刷は、大正8年、現観音寺市で石版印刷業として創業、90年以上に渡り四国の市場で印刷業を続けてきた。

平成3年に現工場に移転、創業後は製紙・紙加工の集積地、愛媛県東予地区からのあらゆる要求に応え、技術力を培い蓄積してきた。平成15年UV照射型印刷機2台導入が大きなターニングポイントとなる。これを機にフィルム・不織布など特殊素材への対応、3D・蓄光・厚盛り・インラインダイカット・エンボス等の表現方法が可能となり、それらを武器に業容を拡大してきた。

そうした中で「地理・地形・地球」をテーマにしたプロダクトシリーズ「geograifia」は、大きな話題を集めた。例えば、主力商品である「地軸23.4度BLANK」は、地球の構造が体感できる組立式地球儀。極薄段ボールに地球の内部構造がプリントされた骨組みに、大陸と海が線画で表現されたシートをはめ込んでいくと23.4度傾いた地球儀が完成する。しかも白地図なので、色を塗ったり書き込んだりして楽しめる。このほか、等高線のラインが立体で現れるメモパッドやパンゲア(かつての超大陸)のパーツを組み立てると完成するパズルタイプのグリーティングカードなど、同社の特殊印刷技術を生かしたユニークな製品は、マスコミでも数多く紹介されている。

### ②海外展開概要

#### <北米・欧州への販路開拓>

マルモ印刷の「geografia」シリーズは、いち早くニュ

ーヨーク近代美術館(MoMA)ミュージアムショップからの引き合いがあり、子ども向けの教育的な玩具として同ショップで販売された。

さらに、平成23年1月には「メゾン・エ・オブジェ」(パリ)に出展、欧州のセレクトショップやミュージアムショップ、さらには高級百貨店などから多数の引き合いを受け、見本市終了後のフォローアップの結果、複数のショップとの継続的な直接取引に成功した。

また、同年8月には「ニューヨーク国際ギフトフェア」にも出展し、北米市場でも複数の直接輸出を実現、現在の輸出先は欧米先進国を中心に23カ国・各地域に広がっている。平成24年1月、8月にも同展示会に連続出展した。

### ③取組の重点(活用した支援策を含む)

MoMAミュージアムショップとの取引を機に海外市場へ手応えを感じた同社は、平成21年10月にジェトロの輸出有望案件発掘支援事業に登録、ジェトロ支援を活用しての海外販路開拓を本格化させた。同事業専門家のアドバイスを受けて平成22年10月ジェトロ大阪が奈良で開催した「日用品・雑貨海外バイヤー商談会」に参加、イタリア最大手の百貨店との商談が成立し初回オーダーの発注を受けた。

また、ジェトロからの市場調査、輸出戦略立案、貿易実務、国際見本市出展準備、契約書作成などの支援も活用した。

### ④今後の事業展開について

同社は、「geografia」シリーズの展開先につき当面欧米市場を中心に毎年10カ国程度のペースで増やすことを目標としている。更に、アジアや中南米などの新興国、ひいては世界中に同社の商品を紹介していきたいとしている。



(平成24年3月現在)

データ出所:四国経済産業局